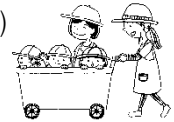


おさんぽ大好き！きたおおじ保育園。神社にお寺、公園など行き先はいろいろですが、子どもたちにとっては、そこに着くまでの道中も、お楽しみのひとつ。大好きなお散歩カーとバギーに乗って、そこから見えるいろんなものに目を輝かせています。「ワンワンやー！」「バスきた～！」「タヌキばっかり～！」「アンパンマン～！」「お花きれい～！」「赤いコーンや！」「木！木い～！！」「ショベルカ～！！！」まあ忙しいこと、まあ賑やかなこと、まあ～楽しそうなこと(\*^▽^\*)



### <気が付いたこと>

あつというまに時が過ぎ、今年も残すところあと一ヶ月となりました。子どもたちの変化、成長を日々感じる中で、ふと気が付いた事があります。

「〇〇せんせいの好きなワンワンやー！」「〇〇くんの好きなバスきた～！」

「〇〇ちゃんの好きなピンク色のお花～！」「〇〇の好きな赤のコーン！」

「〇〇〇の好きなショベルカー！！！」

そうです。いろいろな物を見つけるなかに、いつしか「好きな…」が付いています。

### <好き探し>



私たち保育士は、子どもと関係を作っていく中で、いつも「好き探し」をします。好きな色。好きな動物。好きな食べ物。好きなお歌。好きな遊び。などなど。

その子の好きが分かってくると、それまで当たり前に見えていたものが、特別なものに見えてきます。ただのピンク色がその子の好きなピンク色に。あの子の好きな車が通れば、あの子の好きな！って、なぜか嬉しい気持ちになったり。「〇〇の好きな」がドンドン増えていって、自然と子どもたちにも浸透していったのでしょうか。

### <愛されて育つ>



愛してやまない我が子と共に生きる中で、しっかりと向き合えているのか不安になる時があるかもしれません。そんな時、この子の好きはいま何かな？と考えてみてはどうでしょう。たくさん好きを見つける中で、日常の中に「〇〇くんの好きな～」が増えていくことでしょうか。そうして、笑顔でのやり取りが生まれてきたら、その子の名前の前に「ママの好きな…」を付けてあげるのです。「パパの好きな…」を付けてあげるのです。「好き！」は魔法の言葉ですよ。環境が人を育てると言われますが、どんな環境でも、そばにいてくれる大人がしっかりと愛してくれていたら、子どもはきちんと育つもんです。これからの寒い季節、愛に包まれていきましょう！

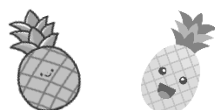
### <おまけのお話>



公園からの帰り道。大通りを通るトラックやミキサー車に夢中な男の子たち。目を輝かせて「アレは何だ～！」「きた～！！」「おっき～い！！！」と、まあなんとも楽しそう。その時、とつぜん、ヘリコプターの大きな音が聞こえてきましたよ！

「なんの音？」「なんの音??」きょろきょろ「なんの音???'すると、ひとりの仲間が、「パイナップルのおと～！」「パイナップル??」「なんで～（笑）」

みなさんお分かりですか…？そのとき聞こえていた音は、「プルプルプルプル～」プルプルプル～…パイナップル！そうです！その子の大好きな、パイナップル（笑）天才ですよ。うん。天才です。



# きたおおじアルバム

